3D2 回撮り

2 回に分けて 2 枚の画像を異なる角度から撮影し、3D 画像にします。

1 ▶ を押して、撮影順を変更します。

2 ◀ または ▶ で被写体の左側と右側のどちらを先に撮影するかを選びます。

- 1 ⟶ 2 のときは、左側を先に撮影します。
- 2 ⟵ 1 のときは、右側を先に撮影します。

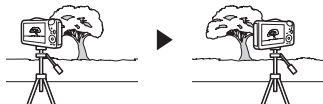
3 シャッターボタンを押すと、1 枚目の画像が撮影されます。

◆ 1 枚目撮影後、**DISP/BACK** ボタンを押すと撮影を中止します。

4 シャッターボタンを押すと、2 枚目の画像が撮影されます。

◆ 1 枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。

① 撮影シーンや状況によっては、立体効果が得られないことがあります。

◆ 良い立体感を得るため、1 枚目と 2 枚目の移動距離は、カメラと被写体の距離の 1/30 から 1/50 程度をおすすめします。

◆ 1枚目の画像を撮影したあとに **自動電源OFF**（126）で設定した時間、何も操作をしなかった場合は自動的に電源はオフになります。

◆ 1 枚目の画像を撮影したあとに電源をオフにした場合、1 枚目の画像も保存されません。

3D2 回撮りで撮影した画像の再生 / プリントについて

◆ このカメラでの再生方法

1 コマ再生時に ▼ を押すと、撮影した 2 枚の画像を交互に表示できます。

◆ このカメラ以外での再生について

2D&3D デジタルフォトフレーム「FINEPIX REAL 3D V3」や
3D デジタルカメラ「FINEPIX REAL 3D W3」で 3D 表示できます。

◆ 3D 写真のプリントについて

http://fujifilm.jp/3d/print/ をご覧ください。

◆ パソコンでの表示

- 付属のソフトウェア（📖84）を使うと、アナグリフ方式などで 3D 表示できます。
- MP フォーマット * に対応するアプリケーションで読み込めます。

◆ テレビでの表示

MP フォーマット * 対応の 3DTV で再生できます。詳しくは再生機器の取り扱い説明書をご覧ください。

① 3D 画像は PictBridge や赤外線通信には対応していません。
① 3D 画像はスライドショーや TV 出力では、2D 表示となります。
① 3D 画像はトリミングや回転などの画像加工はできません。

* 「MP フォーマット」に準拠したデータファイルを「MP ファイル」と呼びます。拡張子は“.MPO”です。このカメラで撮影した 3D 静止画は MP ファイルで保存されます。
マルチピクチャーフォーマット（MP フォーマット）：**M**ulti-**P**icture **F**ormat の略で、カメラ映像機器工業会（CIPA）で承認された複数の静止画を記録するためのファイルフォーマットです。